

## 総合情報学部総合情報学科 3ポリシー

### 総合情報学部の教育目的

データサイエンスや情報技術とビジネスの知識を兼ね備え、諸科学横断的な総合的視野に立って企業・団体、国際社会や地域社会で活躍できる人間性豊かな人材の育成。

総合情報学部総合情報学科ディプロマ・ポリシー

阪南大学総合情報学部は、数理・統計と情報コミュニケーション技術の専門知識を修得し【DP1・DP2・DP3・DP4・DP5】、その知識を有機的に連動させ、文理融合の視点から、ビジネス・情報技術・スポーツなどの多様な領域において、課題の解決を図ることができる学生に学位を授与する。

- ①AI・データサイエンスをもとに新たな価値を創造する能力【DP6】
- ②情報技術を駆使したシステム構築やコンテンツを制作する能力【DP7・DP8】
- ③企業で与えられた役割を担い、更にはイノベーションに貢献したり自ら起業したりする能力【DP9】
- ④客観的データに基づいた実証的・論理的な分析から解決する能力【DP10】
- ⑤文理にわたる知識を活用し実社会で活躍する能力【DP11】
- ⑥ビジネスやスポーツにおいてデータサイエンスを活用する能力【DP12】

具体的には、下記に示す項目及び内容を要件とする。

【知識・理解】

総合情報学部におけるカリキュラム体系をふまえて、以下に掲げる専門的な知識を修得している。

- DP 1：総合的な視野からビジネスを遂行できる専門的な知識。
- DP 2：データサイエンスの専門的な知識。
- DP 3：情報技術とデジタルコンテンツの専門的な知識。
- DP 4：ビジネスデータの分析に関する専門的な知識。
- DP 5：スポーツと身体データの分析に関する専門的な知識。

【技能・思考】

- DP 6：AI・データサイエンス及び情報通信技術に関する知識や技術を、現代社会の諸課題に応用し、新たな価値を創造する能力を有する。
- DP 7：先進的情報技術の知識を持ち、情報技術を駆使してシステムを構築する能力を有する。
- DP 8：先進的情報技術の知識を持ち、情報技術を駆使してデジタルコンテンツを制作する能力を有する。
- DP 9：企業において新事業を開拓できる、もしくは自ら起業する能力を有する。
- DP10：企業や社会・スポーツの問題・課題を発見し、客観的データに基づいて実証的・論理的に分析することで、解決する能力を有する。
- DP11：数理的・統計的な思考方法とビジネスやスポーツの知識を兼ね備えた文理融合型の人材として活躍する能力を有する。

【態度・志向性】

- DP12：新しい知見に基づき国際社会や地域社会に貢献する意欲を持つ。

総合情報学部総合情報学科カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成方針)

ディプロマ・ポリシー（以下 DP）に定めた以下の能力を有する人材育成のために、以下のカリキュラムを設置する。学科科目は、学部共通科目および次の 3 専攻からなる 5 つのコースに学科科目を設定する。なお、3 つの専攻は連携し、相互に科目が補完される。

(1) AI・データサイエンス専攻

AI・データサイエンスコース  
ビジネスデータサイエンスコース

(2) 情報システム専攻

情報システムコース  
デジタルコンテンツコース

(3) スポーツデータサイエンス専攻

スポーツデータサイエンスコース

(学位授与方針と教育内容方針との対応)

総合情報学部は、経済社会における情報コミュニケーション技術やデータサイエンスに関する専門知識【DP1・DP2・DP3・DP4・DP5】を修得し、以下の6つの能力

- ①AI・データサイエンスをもとに新たな価値を創造する能力【DP6】
- ②情報技術を駆使したシステム構築やコンテンツを制作する能力【DP7・DP8】
- ③企業で与えられた役割を担い、更にはイノベーションに貢献したり自ら起業したりする能力【DP9】
- ④客観的データに基づいた実証的・論理的な分析から解決する能力【DP10】
- ⑤文理にわたる知識を活用し実社会で活躍する能力【DP11】
- ⑥ビジネスやスポーツにおいてデータサイエンスを活用する能力【DP12】

を身につけ、文理融合の視点から、ビジネス・情報技術・スポーツなどの多様な領域において、課題の解決力を身につけるために対応した専門基礎科目、専門科目を選択し履修する。

CP1：総合的な視野からビジネスを遂行できる専門的な知識

1年次から「経営学入門1」「経営学入門2」「金融リテラシー1」「金融リテラシー2」「基礎数学1」を履修した上で総合的な視野からビジネスを遂行できる知識を獲得する

DP1を獲得するにあたって履修する科目

演習科目：IT 産業実践講座・ビジネス AI 実践講座・ビッグデータマーケティング実践・e スポーツイベント2 等

講義科目：経営学入門1・経営学入門2・金融リテラシー1・金融リテラシー2・ビジネスデータ分析1・ビジネスデータ分析2・簿記・基礎数学1・ビッグデータマーケティング論・ネットビジネスモデル論・実証経営学・先端金融論・証券投資論・e スポーツイベント1 等

CP2：データサイエンスの専門的な知識

1年次から「ビジネスデータ分析1」を履修しビジネスにおけるデータの活用の意義を理解し、2年次以降で「データサイエンス基礎1」「データサイエンス基礎2」をはじめとする関連科目でデータサイエンスの専門的な知識を獲得する

DP2を獲得するにあたって履修する科目

演習科目：ビジネスデータ分析1・ビジネスデータ分析2・ビジネス AI 実践講座・ビッグデータマーケティング実践・データサイエンス実践・AI プログラミング実践・ロボティクス・IoT 等

講義科目：基礎数学1・基礎数学2・AI・データサイエンス基礎1・AI・データサイエンス基礎2・ビッグデータマーケティング論・経営統計論1・経営統計論2・数理統計論1・数理統計論2 等

CP3：情報技術とデジタルコンテンツの専門的な知識

1年次から「IT 入門」「情報処理入門」「マルチメディア論1」「プログラミング入門」を履修した上で情報技術とデジタルコンテンツの専門的な知識を獲得する

**DP3 を獲得するにあたって履修する科目**

演習科目：プログラミング入門・プログラミング1・プログラミング2・Web デザイン・デジタルアート 等

講義科目：IT 入門・情報処理入門・システム開発論・ネットワーク論1・ネットワーク論2・映像デザイン論・データベース論・マルチメディア論1・マルチメディア論2・ゲームデザイン論・データベース論・AI プログラミング入門・先端 IT 技術論 等

**CP4：ビジネスデータの分析に関する専門的な知識**

1年次から「ビジネスデータ分析1」「経営学入門1」「経営学入門2」を履修した上でビジネスデータ分析に関する専門的な知識を獲得する

**DP4 を獲得するにあたって履修する科目**

演習科目：ビジネスデータ分析1・ビジネスデータ分析2・ビジネス AI 実践講座・ビッグデータマーケティング実践 等

講義科目：経営学入門1・経営学入門2・ビッグデータマーケティング論・ネットビジネスモデル論・実証経営学・証券投資論・先端金融論・アンケート分析と分析・経営統計学1・経営統計学2 等

**CP5：スポーツと身体データの分析に関する専門的な知識**

1年次から「スポーツ情報戦略論」「スポーツテクノロジー入門」「発育発達論」を履修した上でスポーツデータ分析に関する専門的な知識を獲得する

**DP5 を獲得するにあたって履修する科目**

演習科目：スポーツ映像分析論1・スポーツ映像分析論2・スポーツ統計解析・スポーツゲーム分析1・スポーツゲーム分析2・スポーツ動作分析1・スポーツ動作分析2・フィットネス測定評価1・フィットネス測定評価2・映像メディア演習（映像とダンス） 等

講義科目：スポーツテクノロジー入門・スポーツ情報戦略論・発育発達論 等

**CP6：AI・データサイエンス及び情報通信技術に関する知識や技術を現代社会の諸課題に応用し新たな価値を創造する能力**

1年次に履修した「IT 入門」「ビジネスデータ分析1」「マルチメディア論1」「プログラミング入門」で得た基礎的知識と技能を修得した上で、AI・データサイエンス及び情報通信技術に関する知識や技術を現代社会の諸課題に応用し新たな価値を創造する能力を獲得する

**DP6 を体得するにあたって履修する科目**

演習科目：ビジネス AI 実践講座・プログラミング1・プログラミング2・AI プログラミング入門・AI プログラミング実践・データサイエンス実践・ロボティクス・IoT・e スポーツ実技分析 等

講義科目：ネットワーク論1・ネットワーク論2・映像デザイン論・AI・データサイエンス基礎1, AI・データサイエンス基礎2・データベース論・システム開発論・ゲームデザイン論・先端 IT 技術論 等

**CP7：先進的情報技術の知識を持ち情報技術を駆使してシステムを構築する能力**

1年次から「プログラミング入門」を履修した上で先進的情報技術の知識を持ち情報技術を駆使してシステムを構築できる能力を獲得する

**DP7 を体得するにあたって履修する科目**

演習科目：プログラミング1・プログラミング2・AI プログラミング入門・モバイルアプリ制作1・モバイルアプリ制作2・Web アプリ制作1・Web アプリ制作2・ロボティクス・IoT 等

講義科目：ネットワーク論1・ネットワーク論2・データベース論・システム開発論・システムアーキテクチャ論・組み込みシステム論・先端 IT 技術論 等

**CP8：先進的情報技術の知識を持ち情報技術を駆使してデジタルコンテンツを制作する能力**

1年次から「マルチメディア論1」「Web デザイン」「デジタルアート」を履修した上で先進的情報技術の知識を持ち情報技術を駆使してデジタルコンテンツを制作する能力を獲得する

**DP8 を体得するにあたって履修する科目**

**演習科目：**デスクトップミュージック・デジタルコンテンツ制作1・デジタルコンテンツ制作2・映像メディア演習（映像とダンス） 等

**講義科目：**マルチメディア論1・デジタルアート・Web デザイン・ゲームデザイン論・デジタル情報発信1・デジタル情報発信2・映像デザイン論・ゲームデザイン論・グローバルメディア1・グローバルメディア2 等

**CP9：企業において新事業を開拓できるもしくは自ら起業する能力**

1年次から「経営学入門1」「経営学入門2」「金融リテラシー1」「金融リテラシー2」を履修した上で企業において新事業を開拓できるもしくは自ら起業する能力を獲得する

**DP9を体得するにあたって履修する科目**

**演習科目：**ビッグマーケティング実践・ビジネスAI 実践講座・e スポーツイベント2 等

**講義科目：**経営学入門1・経営学入門2・金融リテラシー1・金融リテラシー2・先端金融論・ネットビジネスモデル論・ビッグマーケティング論・実証経営学・証券投資論・e スポーツイベント1 等

**CP10：企業や社会・スポーツの問題・課題を発見し客観的データに基づいて実証的・論理的に分析することで解決する能力**

1年次から「経営学入門1」「経営学入門2」「金融リテラシー1」「金融リテラシー2」を履修した上で企業や社会・スポーツの問題・課題を発見し客観的データに基づいて実証的・論理的に分析することで解決する能力を獲得する

**DP10を体得するにあたって履修する科目**

**演習科目：**ビジネスデータ分析1・ビジネスデータ分析2・ビッグデータマーケティング実践・スポーツ統計解析・スポーツゲーム分析1・スポーツ動作分析1・スポーツ映像解析1・フィットネス測定評価1 等

**講義科目：**ビッグデータマーケティング論・ネットビジネスモデル論・証券投資論・実証経営学・先端金融論・経営統計学1・経営統計学2・アンケート調査と分析・管理会計論・財務会計論 等

**CP11：数理的・統計的な思考方法とビジネスやスポーツの知識を兼ね備えた文理融合型の人材として活躍する能力**

1年次から「基礎数学1」「基礎数学2」を履修した上で数理的・統計的な思考方法とビジネスの知識を兼ね備えた文理融合型の人材として活躍する能力を獲得する

**DP11を獲得するにあたって履修する科目**

**演習科目：**シミュレーション法・経営モデル分析・スポーツ統計解析・スポーツ映像分析1・スポーツ映像分析2・スポーツゲーム分析1・スポーツゲーム分析2・スポーツ動作分析1・スポーツ動作分析2・フィットネス測定評価1・フィットネス測定評価2・ロボティクス・IoT 等

**講義科目：**基礎数学1・基礎数学2・オペレーションリサーチ1・オペレーションリサーチ2・アンケート調査と分析・実証経営学・先端金融論・経営統計学1・経営統計学2・数理統計学1・数理統計学2・多変量解析・数理社会学・スポーツテクノロジー・スポーツ情報戦略論・発育発達論 等

**CP12：新しい知見に基づき国際社会や地域社会に貢献する意欲**

1年次から「Sports English」「e-Sports English」を履修し、英語コミュニケーションの必要性和重要性を理解する。その上で、各専門科目や専門演習に於いて学習内容と社会との関係と学習したことを基礎として主体的に行動することが国際社会や地域社会に貢献できることを示すことで社会貢献の意欲を醸成する

**DP12を育成するにあたって履修する科目**

**演習科目：**専門演習1a, 専門演習1b, 専門演習2a, 専門演習2b, 専門演習3a, 専門演習3b・e スポーツイベント2 等

**講義科目：**e-Sports English・Gaming English・デジタル情報発信1・デジタル情報発信2・グローバルメディア1・グローバルメディア2 等

(教育内容・教育方法方針)

**【科目区分】**

**【基礎教育】**

入学生の円滑な大学生活への移行を促すために、少人数のクラス編成による「大学入門ゼミa」「大学入門ゼミb」を開講する。また、専門科目の学修基礎となる科目として、ビジネス社会の仕組みや情報の収集と利活用の基本を

学ぶことを目的とした「IT 入門」、「経営学入門 1」、「ビジネスデータ分析 1」、「情報処理入門」、「スポーツテクノロジー」やメディア表現の基礎を学ぶ「マルチメディア論」「Web デザイン」の基礎的な科目を配置する。

### 【専門教育】

#### 演習科目（必修科目）

初年次教育での学びを活かし、2年次より専門的な演習科目を履修する。2年次の「専門演習 1 a」と「専門演習 1 b」はその基本となる事柄を学ぶ科目であり、3年次の「専門演習 2 a」と「専門演習 2 b」では発展した専門教育および研究を展開する。これらの成果をもとに4年次の「専門演習 3 a」と「専門演習 3 b」では卒業論文または卒業制作に取り組む。なお、これらは全て半期 2 単位であり、なおかつ必修科目である。

#### 講義科目

以下に掲げる 3 専攻 5 コースで構成され、総合情報学部の共通の基礎科目として位置づけられる必修および全員履修科目、自由選択科目からなる。学生は 72 単位以上修得することが求められる。

**必修科目：**総合情報学部を卒業するための基礎となる知識を学ぶことができる科目である。

**全員履修科目：**各専攻の学修に欠かすことのできない基礎となる科目であり、必ず全員が履修しなければならない科目である。

**基本選択科目：**各専攻に配置されている基本科目であり、配当年次以降に続く専門科目の基盤となる科目である

**基幹選択科目：**各専攻を学修する際には欠かすことのできない幹となる中心科目であり、必修科目および全員履修科目、基本選択科目とともに学部専門科目の全体の基盤となる科目である。

**自由選択科目：**各専攻の専門性を高めるための科目である。

### AI・データサイエンス専攻

#### AI・データサイエンスコース

データサイエンスの理論や AI プログラミングに関する学びを提供し、AI 技術の実装に関する科目も設置する。

#### ビジネスデータサイエンスコース

ビジネスの基礎知識およびビジネスに AI・データサイエンスを応用することによる新たな価値創造に関する学びを提供する。

### 情報システム専攻

#### 情報システムコース

先端的な情報技術と理論に関する学びを提供し、同時に技術と理論に基づき システムの設計や実装に関する科目も設置する。

#### デジタルコンテンツコース

情報技術を使った映像・音楽・3D グラフィック・ゲーム等のデジタルコンテンツの先端的な技術と理論に関する学びを提供する。同時にデジタルコンテンツの社会とかわりを学び、デジタルコンテンツ作品を制作する科目を設置する。

### スポーツデータサイエンス専攻

#### スポーツ情報科学コース

1) 数理・統計知識および情報通信技術を用いて、スポーツを科学的に分析するための理論や技術の学びを提供する。

2) これらの理論や技術を、競技力や身体能力向上へと応用するための学びを提供する。

### 【一般教育】

本学の一般教育科目は、教育理念にある「総合的な分析・判断能力」の養成や、「人間性豊かな人材」の育成を目的とし、大学生としての基礎教養を涵養するための科目である。これらの科目は、各分野を研究する意義と意味、受講生の興味を喚起する内容となっている。特に、高大接続を意識しながら大学での学び方の重要な一点となる、受講内容を通して自発的に課題抽出し、考え、解を導き出せる講義設計を実施している。各授業内容は、科目担当者の研究成果をふまえた内容である。本学が目的とする「次世代型実学教育」を実現する一貫として、学びの可視化をより明確

にするために、各科目の講義内容のテーマを明示する。

#### 【キャリア教育】

本学のキャリア教育科目とは、人生 100 年時代の「社会人基礎力」及び Society5.0 社会を生き抜くための基盤形成を行う科目である。本科目は、スキルの体得にとどまらず、卒業後を意識した「人生 100 年時代」を生き抜く力を育成するために設置されている。AI をはじめとして加速度的な進化を遂げる現代社会。その現実を見据えた時、自らを更新させる能力が求められている。その中で改めて本学の教養教育におけるキャリア教育科目として、以下の 3 点を養成する。

- i) 文章や情報を正確に読み解き対話する力
- ii) 科学的に思考・吟味し活用する力
- iii) 価値を見つけ生み出す感性と洞察力・好奇心および探求力

キャリア教育諸科目を受講することで、大学での学びを「人生 100 年時代」の第一歩とすると共に、自己の目標実現と実り豊かな人生を構築するための礎となる科目設定と教育の実現を行う。

#### (学修成果評価方針)

学修成果の評価に当たっては、シラバスに具体的な成績評価基準を記載し、その基準に基づき行う。

### 総合情報学部総合情報学科アドミッション・ポリシー

阪南大学総合情報学部は、建学の精神およびミッションステートメントに則り、阪南大学アドミッション・ポリシーを前提として、次に掲げる人の入学を希望する。

#### AP 1 : 知識・技能

入学後、所定のカリキュラムを修得するための高校教育程度の基礎的知識と学習を継続できる能力を有している人。具体的には、英語・国語・数学および理科または地歴・公民分野に関する基礎的な内容を身につけている人。

#### AP 2 : 思考力・判断力

阪南大学アドミッション・ポリシー記載のものに加えて、関連する情報を収集し、それらを総合した明確な根拠に基づいて思考し、筋道立てて判断できる能力がある人。

#### AP 3 : 関心・意欲

ビジネスやスポーツを含むあらゆる分野で情報化が進展する社会に関心を持ち、その仕組みや機能とそれらの社会への応用についての学習意欲がある人。また、学部教育で修得するデータサイエンス、情報技術、ビジネス、スポーツに関する知識を元に、情報の利活用によって豊かで生産的な社会の実現に貢献したいと考えている人。